

平成25年度林野庁直轄事業の発注業務にかかるアンケート調査結果

I 目的

林野庁直轄事業の発注事務の透明性・競争性・公正性の確保、発注事務に携わる職員の綱紀の保持の取組に関して、事業者の皆様のご意見を把握し、今後の発注事務の適正化に資することを目的としています。

II 調査対象

全国の競争参加有資格者名簿に登録されている事業者及び都道府県の認定事業体の中から、これらの約五分の一に相当する1,836の事業者を無作為に抽出して無記名のアンケート調査を実施し、956の事業者から回答（回答率52.1%）をいただきました。

III 回答者の属性等

1 主たる業種

回答をいただいた事業者の主たる業種は、土木一式工事が最も多く、次いでコンサルタント等及びその他の順となっています。

＜表1 主たる業種（主たるものを一つ選択）＞

| 主たる業種 | 回答数 | 割合(%) |
|----------|-----|-------|
| 土木一式工事 | 432 | 45.2 |
| 素材生産 | 121 | 12.7 |
| 造林事業 | 69 | 7.2 |
| コンサルタント等 | 167 | 17.5 |
| その他 | 167 | 17.5 |
| 計 | 956 | — |

注)：「その他」は、建築一式工事を含む。

2 競争参加資格の格付等級

回答をいただいた事業者の競争参加資格の格付等級については、回答者のうち約4割がD等級となっています。また、業種別にみると、土木一式工事はD等級、コンサルタント等はB等級、素材生産及び造林事業はC等級が最も大きな割合となっています。

＜表2 業種別競争参加資格の格付等級＞

| 主たる業種 | 競争参加資格の格付等級 | | | | 計 |
|----------|-----------------|------------------|------------------|------------------|-----|
| | A | B | C | D | |
| 土木一式工事 | 21 (5.1%) | 56 (13.5%) | 61 (14.7%) | 277 (66.7%) | 415 |
| 素材生産 | 12 (13.3%) | 22 (24.4%) | 31 (34.4%) | 25 (27.8%) | 90 |
| 造林事業 | 6 (12.5%) | 11 (22.9%) | 20 (41.7%) | 11 (22.9%) | 48 |
| コンサルタント等 | 5 (3.5%) | 94 (65.3%) | 38 (26.4%) | 7 (4.9%) | 144 |
| その他 | 16 (11.4%) | 32 (22.9%) | 60 (42.9%) | 32 (22.9%) | 140 |
| 計 | 60 (7.2%) | 215 (25.7%) | 210 (25.1%) | 352 (42.1%) | 837 |

注1)：() 書は、それぞれの主たる業種に占める割合。

注2)：「その他」は、建築一式工事を含む。

3 林野庁（局・署等）が実施する入札への参加意向等について

(1) 参加意向

今後、林野庁（局・署等）が実施する入札への参加意向については、「これまでも参加

しており、今後も参加する」と回答した事業者の割合が最も高く、次いで「これまで参加していないが、今後は参加する」の順となっており、両者を合わせると今後入札に参加する意向の事業者は、約9割となっています。

一方、同様に今後入札に参加しない意向の事業者は、約1割となっています。

＜表3 入札への参加意向＞

| 参加意向 | 回答数 | 割合(%) |
|------------------------|-----|-------|
| これまでも参加しており、今後も参加する | 444 | 47.4 |
| これまで参加していないが、今後は参加する | 372 | 39.7 |
| これまで参加してきたが、今後は参加しない | 12 | 1.3 |
| これまでも参加していないし、今後も参加しない | 108 | 11.5 |
| 計 | 936 | — |

(2) 入札に参加しない理由

「入札に参加しない」と回答した事業者に、下表のア～ウの選択肢でその理由を尋ねたところ、回答者の約半数がイ（余力がない）と回答しています。

＜表4 入札に参加しない理由＞

| 理由 | 回答数 | 割合(%) |
|---------------------------|-----|-------|
| ア 局・署等の入札は「魅力」がない | 11 | 9.6 |
| イ 他の発注機関の入札に参加しており「余力」がない | 57 | 49.6 |
| ウ その他 | 47 | 40.9 |
| 計 | 115 | — |

入札に参加しない具体的な理由としては、アについては「現場条件が厳しい割に単価が低い。」、イについては「技術者不足。」、ウについては「近隣に工事の発注があまりない。」などがありました。

4 入札に参加している（今後参加する）森林管理局

入札に参加する（今後参加する）森林管理局については、関東局と回答した事業者が最も多く、次いで九州局の順となっています。

＜表5 入札に参加している（今後参加する）森林管理局（主たる局を一つ選択）＞

| 森林管理局名 | 回答数 | 割合(%) |
|--------|-----|-------|
| 北海道局 | 112 | 12.4 |
| 東北局 | 123 | 13.7 |
| 関東局 | 191 | 21.2 |
| 中部局 | 96 | 10.7 |
| 近畿中国局 | 156 | 17.3 |
| 四国局 | 60 | 6.7 |
| 九州局 | 163 | 18.1 |
| 計 | 901 | — |

注：関東局には、本庁を含む。

IV アンケート調査結果

1 入札参加資格要件について

(1) 設問

入札参加資格要件について、以下の選択肢により調査を行いました。

- ア 適正と感じる
- イ 厳しいと感じる
- ウ 厳しいとは感じない（緩いと感じる）

(2) 調査結果

入札参加資格要件について、全業種で「適正」と感じている事業者の割合が8割を超えています。また、業種別では、適正と感じる事業者の割合が素材生産で最も高くなっています。

<表6 入札参加資格要件について>

| 主たる業種 | 適正と感じる | 厳しいと感じる | 計 |
|----------|-------------------|-------------------|-----|
| 土木一式工事 | 308 (82.1 %) | 67 (17.9 %) | 375 |
| 素材生産 | 97 (92.4 %) | 8 (7.6 %) | 105 |
| 造林 | 53 (86.9 %) | 8 (13.1 %) | 61 |
| コンサルタント等 | 114 (84.4 %) | 21 (15.6 %) | 135 |
| その他 | 130 (92.9 %) | 10 (7.1 %) | 140 |
| 計 | 702 (86.0 %) | 114 (14.0 %) | 816 |

注1)：() 書は、それぞれの主たる業種に占める割合。

注2)：「その他」は、建築一式工事を含む。

(3) 「厳しいと感じる」と回答した者の主な意見

「森林土木の実績がなくても、一般土木の実績で応札できるようにすべき（土木一式工事）。」や「入札参加条件について、森林土木と類似の実績でも参加できるようにして欲しい（コンサルタント等）。」、「総合評価について、地域性を重視すべき（土木一式工事）。」、「現場代理人について、重複配置を可能とすべき（造林）。」などの意見がありました。入札参加資格要件としている同種事業の実績については、標高が高く急峻で気象が急変しやすい山間部で作業を行うなどその特殊性を踏まえ、その安全性や成果品の品質を確保するために、森林土木の実績を必要としつつも、都道府県及び市町村が発注した同種事業の実績も含んでいます。また、総合評価落札方式では、入札者の地域に対する精通度を加点評価しています。現場代理人は、隣接する複数の現場を一として管理することが合理的な場合は重複配置を認めています。

2 仕様書について

(1) 設問

仕様書について、以下の選択肢により調査を行いました。

- ア 適正
- イ 分かりやすい
- ウ 分かりにくい

(2) 調査結果

「適正」又は「分かりやすい」と感じている事業者の割合が全体で9割を超えています。また、業種別では、「分かりにくい」と感じている事業者の割合が素材生産で最も低い一方で造林で最も高くなっています。

<表7 仕様書について>

| 主たる業種 | 適正 | 分かりやすい | 分かりにくい | 計 |
|----------|-------------------|------------------|------------------|-----|
| 土木一式工事 | 287 (87.2 %) | 8 (2.4 %) | 34 (10.3 %) | 329 |
| 素材生産 | 89 (87.3 %) | 11 (10.8 %) | 2 (2.0 %) | 102 |
| 造林 | 44 (75.9 %) | 5 (8.6 %) | 9 (15.5 %) | 58 |
| コンサルタント等 | 106 (89.1 %) | 8 (6.7 %) | 5 (4.2 %) | 119 |
| その他 | 107 (89.2 %) | 8 (6.7 %) | 5 (4.2 %) | 120 |
| 計 | 633 (87.0 %) | 40 (5.5 %) | 55 (7.6 %) | 728 |

注1)：() 書は、それぞれの主たる業種に占める割合。

注2)：「その他」は、建築一式工事を含む。

(3) 「分かりにくい」と回答した者の主な意見

「数量内訳書の種別毎の明細書を公告時に公表してほしい（土木一式工事）」や「図面にある数量や歩掛等が適切に計上されているか判断できないので、（公告時に）代（単）価表レベルまで公開してほしい（土木一式工事）」、「設計上の予定数量以上に生産量が上がった場合設計変更の対象とすべき（素材生産）」、「仕様書と実際の現地での作業内容が異なる（造林）」などの意見がありました。

工事における数量内訳等については、より一層の公表について指導してまいります。

また、素材生産量の増減については、契約約款に基づき変更契約を締結するなど適切に対応しています。なお、仕様書と実際の作業内容の不一致は確認できませんでしたが、引き続き、現地の条件調査を的確に行うよう指導してまいります。

3 入札参加資格、仕様書の他に改善すべき点について主な意見

「冬期施工にならないよう入札時期を改善してほしい（土木一式工事）」や「入札時期を早くし、十分な事業期間を確保する（素材生産）」、「事業体の強化等のため、造林事業と間伐等の伐採事業を合わせて単年度内の一つの事業として発注すべき（素材生産）」、「（入札は、）完全に電子入札のみで行った方がよい（土木一式工事）」、「人件費、材料費、燃料費、修繕費等全体的に経費が上がっているため積算を見直してほしい（素材生産）」、「最低制限価格（失格価格）の適正な導入（造林、コンサルタント等）」、「一件当たりの作業量が大きすぎて入札に参加できない（造林）」などの意見がありました。

事業の早期発注と十分な事業期間の確保、造林事業と生産事業を組み合わせた一括発注の推進については、引き続き取り組んでまいります。また、土木工事の入札は原則として電子入札システムにより実施しており、今後とも電子入札を推進していきます。労賃等の積算因子は、引き続き改定の都度に予定価格の積算に適切に反映させていきます。最低制限価格（失格価格）制度については、地方自治法施行令に基づき地方公共団体のみに導入が認められています。なお、事業の発注ロットについては、競争性の確保を前提として、地域の実態を踏まえ、適切に実施するよう指導してまいります。

4 不適正な事案や不合理と思われる事案等について主な意見

「C級の工事ばかりでD級の工事がほとんどない（土木一式工事）」や「仕様書等に対する質問に対し的確な答えがほしい（土木一式工事）」、「OBが多数在籍している大手コンサルタントの受注割合が大きいと感じる（コンサルタント等）」、「いつも同じ業者が落札している（素材生産）」などの意見がありました。

格付等級による入札参加者の区分については、C等級の工事であっても、資格点数が一定以上であればD等級の事業者の入札参加を認めています。また、事業者からのご質問については、的確な回答に努めるとともに、今後ともホームページで公表してまいります。調査設計業務に関する入札は、技術提案の的確性等を審査して公平・公正に執行しています。素材生産事業については、事業量に対して請負事業者の数が少ない地域も存在しており、多くの事業者が入札に参加していただけるよう、事業の発注見通しのホームページへの早期の掲載に取り組んでまいります。

5 今後さらに取り組んだ方がよいと思われることについて主な意見

「年間2回程度、民間事業者との交流（対話）の場を設けてほしい（素材生産、造林）」、「発注物件のメールサービスがあればよい（その他）」などの意見がありました。貴重なご意見をいただき、今後の業務の参考にさせていただきます。

V 終わりに

林野庁直轄事業の発注については、引き続き、透明性・競争性・公正性の確保に取り組むとともに、ホームページ等を通じて、工事等の発注見通しや入札情報の適時適切な発信に努めていきます。なお、各森林管理局管内の入札情報等については、各局のホームページの「公売・入札情報」をご覧ください。

担当：林野庁林政課監査室（契約適正化推進担当）03(6744)2317

林野庁の事業の発注に関するアンケート調査票

・ ご回答に当たっては、「ある署では」、「聞くとところによると」といった抽象的な記載でなく、可能な限り、「いつ、どこで、誰が、何をした」など具体的に記載するようお願い致します。
 なお、本アンケートは無記名ですが、問5については、差し支えない範囲で連絡先等をお教えいただければ幸いです。
 ・ 本アンケートは、林野庁においてとりまとめ今後の発注事務等の改善に役立たせていただきますが、お答えいただいた内容によって、取引に悪影響を与えたり、不利益を受けることは絶対にありませんので、ありのままをお答えいただきますようお願いいたします。

1 業種等についてお伺いします。

(1) 主たる業種は何ですか。該当するものに一つだけ○を付けてください。

- ア 土木一式工事
- イ 建築一式工事
- ウ 素材生産
- エ 造林事業
- オ 測量・建設コンサルタント等
- カ その他(業種名: _____)

(2) 競争参加資格の格付等級は何ですか。(1)で選択した業種に該当するものに○を付けてください。

- ア A イ B ウ C エ D

(3) 今後、森林管理局、森林管理署が発注する工事等へ参加するお考えはありますか。該当するものに○を付けてください。

- ア これまでも参加しており、今後も参加する
- イ これまで参加していないが、今後は参加する
- ウ これまでは参加してきたが、今後は参加しない
- エ これまでも参加していないし、今後も参加しない

(4) (1)で「ウ これまでは参加してきたが、今後は参加しない」、「エ これまでも参加していないし、今後も参加しない」とお答えになった方にお伺いします。それは主にどのような理由からですか、該当するものに一つだけ○を付け、その理由をお聞かせください。

ア 森林管理局、森林管理署等の入札は「魅力」がない。

理由:

イ 他の発注機関の入札に参加しており余力がない。

理由:

ウ その他

理由:

(5) 主として入札に参加している(今後参加する)森林管理局はどこですか。該当するものに一つだけ○を付けてください。

- ア 北海道 イ 東北 ウ 関東 エ 中部 オ 近畿中国 カ 四国 キ 九州 ク 林野庁本庁(研修所を含む)

2 森林管理局、森林管理署等が発注する工事(素材生産、造林事業、測量・コンサルタント等を含む。以下同じ。)等への入札参加資格要件についてお伺いします。その要件は国の他の機関等と比較してどのように感じますか。該当するものに○を付けてください。

- ア 適正と感じる イ 厳しいと感じる ウ 厳しいとは感じない(緩いと感じる)

「イ」とお答えの方にお伺いします。どのような点が厳しいと感じていますか。どこの森林管理署等のことかを含め具体的にお聞かせください。

| | | |
|---|--|--|
| 対象業種 | | |
| 森林管理局、森林管理署等の名称 | | |
| 「厳しいと感じる」具体的な要件の内容・問題点 (比較対象となる国の発注機関の名称と内容) | | |
| 具体的にどのように見直して欲しいか お聞かせください | | |

※ 対象業種には、「土木、建築、素材生産、造林、測量・建設コンサルタント等」を具体的にご記入ください。

裏面にも設問がありますのでよろしくお願ひします。

3 森林管理局、森林管理署等が発注する工事等の仕様書についてお伺いします。国の他の機関等と比較して記載内容等はどのように感じますか。該当するものに○をつけてください。

ア 適正 イ 分かりやすい ウ 分かりにくい

「ウ」とお答えの方にお伺いします。どのような点が分かりにくいと感じていますか。どこの森林管理署等のことかを含め具体的にお聞かせください。

| | | |
|---|--|--|
| 対 象 業 種 | | |
| 森林管理局、森林管理署等の名称 | | |
| 「分かりにくい」と感じる仕様書の内容・問題点 (比較対象となる国の発注機関の名称と内容) | | |
| 具体的にどのように変えて欲しいか お聞かせください | | |

※ 対象業種には、「土木、建築、素材生産、造林、測量・建設コンサルタント等」を具体的にご記入ください。

4 森林管理局、森林管理署等が発注する入札等についてお伺いします。上記2、3の他にどのような点を改善すべきとお考えですか。具体的にお聞かせください。

| | | |
|-----------------------------|--|--|
| 対 象 業 種 | | |
| 森林管理局、森林管理署等の名称 | | |
| 改善すべき点 | | |
| 具体的にどのように改善すべきか お聞かせください | | |

※ 対象業種には、「土木、建築、素材生産、造林、測量・建設コンサルタント等」を具体的にご記入ください。

5 森林管理局、森林管理署等が実施する入札等に関して、不適正な事案や不合理と思われる事案等（特定の業者が独占的に受注している等）お気づきの点がありましたら、そのことについて具体的にご記入ください。

| | |
|-----------------|--|
| 森林管理局、森林管理署等の名称 | |
| 具 体 的 な 内 容 | |

○ お教えいただいた事案等につきまして適切に対応するために、差支えがなければ会社名、連絡先等をお教えください。
(会社名： 氏名： 連絡先：)

6 林野庁等では、発注事務に係る談合等の不正行為防止対策のさらなる推進に努めています。今後さらに取り組んだ方が良いと思われることなど、ご意見がありましたら具体的にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。
同封した返信用封筒で平成26年1月20日(月)までに投函願います。